

【事務事業調査】

事務事業名	障害者地域生活相談支援事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001 - 030201 - 006 - 01 - 04 - 0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 長谷川博一	事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	電話や来所のほか、積極的な家庭訪問を実施することにより、障害者およびその家族等の相談に応じ、地域生活を支援する。	障害福祉サービスの理解および利用促進が図られるとともに、本人および家族等の精神的・物理的ストレスが緩和される。
実績	・電話や来所、訪問等により、障害児者やその家族等の相談に応じ、当該障害者が地域で生活できるよう継続したフォローをした。 ・本年度実績は、相談延べ人数1,396人であった(H18:592人、H19:928人の利用実績)。	・フリースペースなどの事業展開により、相談支援事業が理解され、県の相談機関や病院や施設、NPOなど機関からの紹介が増加してきた。障害やサービス利用についての理解、利用が進んでいる。 ・精神、発達障害者や困難ケースの増加に伴い、主たる活動が相談から生活支援にシフトしつつある。本年度は相談1件あたりの支援回数が1.74回であった(前年度は1.25回)。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
障害種別(単位:種)	5	7	本年度実績は、三障害および難病・高機能自閉症・アスペルガー・ADHDの7種障害であった。 地域経営計画では、H22までに8障害(三障害・難病・高機能自閉症・アスペルガー・ADHD・LD)を目標としている。 H21以降の目標値は、支援件数とした。

事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	9,170,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	9,170,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	9,170,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	9,170,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	9,170,000	人件費分:8,840,000円 事務費分: 330,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	9,170,000	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		9,170,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		9,170,000	
決 算	決算額		9,170,000	
財 源	国庫支出金	360,000	360,000	地域生活支援事業費補助金
	県支出金	180,000	180,000	地域生活支援事業費補助金
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	540,000	540,000	
	差引(一般財源)	8,630,000	8,630,000	